

小平市議会定例会一般質問通告書

質問件名 小平市の防災体制について

質問要旨 今年1月1日に発生した能登半島地震では、6週間経過した時点で13,000人あまりの方が避難所で生活し、34,000戸以上で断水が続いていると報道されています。小平市における災害への備えについてお聞きします。

1. 災害時の医療体制について、小平市医師会や小平市薬剤師会等の医療関係団体とはどのように連携されていますか。
2. 東京都発行の令和4年度区市町村防災事業の現況(以下、防災事業の現況という)によると、26市のうち東村山市、国分寺市など11市で災害時のボランティアについて登録制度を設けています。災害時には小平市社会福祉協議会内に小平市災害ボランティアセンターが設けられますが、災害時の一般ボランティアおよび医師や看護師など専門的な知識や技能を有する専門ボランティアの事前の登録制度を設けてはいかがでしょうか。また、市の避難所運営マニュアル作成の指針によると、語学のスキルを有するボランティアについては、小平市災害時外国人支援センター(小平市国際交流協会)での登録対象とするとされていますが、何名が登録され、どのように活動するのでしょうか。津田塾大学との災害時における語学ボランティア活動に関する協定に基づき、事前登録されている学生語学ボランティアの人数と登録言語の種類もわかればお教えてください。
3. 防災事業の現況によると、自主防災組織がその活動範囲としている地域の世帯数を市内世帯数で除した自主防災組織活動カバー率が小平市は23.0%で、武蔵野市の100%や府中市の52.3%などより低く、26市中4番めに低くなっています。その要因について見解をお聞かせください。また、消防庁発行の「自主防災組織の手引」は、自主防災組織の連携の必要性と効果について触れています。防災事業の現況によると、26市のうち三鷹市、小金井市、国分寺市など10市で自主防災組織の連合体があるとされていますが、小平市では必要ないのか見解をお聞かせください。
4. 市は昨年2月に福祉避難所運営マニュアル作成のためのガイドラインを策定しました。現在、マニュアルの作成に取り組んでいる福祉避難所の数をお教えてください。また、公共施設マネジメント推進計画では、小学校建て替えの際に学区域内の地域センターは統合することにより、福祉避難所としての地域センターの数が減ることになりますが、福祉避難所の収容人数の点から問題ではないでしょうか。
5. 防災事業の現況によると、小平市で登録されている避難行動要支援者2894人が市内人口に対する割合1.5%は、26市のうち小金井市の1.2%に次いで低い値ですが、低い理由について見解をお聞かせください。また、避難行動要支援者の個別計画の策定状況をお教えてください。

6. 防災事業の現況では、移動用発電機61台が市内避難所に配備されているようですが、非常用電源用燃料と併せてどこにどう配置されているのか教えてください。また、八王子市、羽村市、あきる野市では非常用電源として再生可能エネルギー発電設備(蓄電池付)を市内数か所に配備していますが、小平市でも導入してはいかがでしょうか。
7. 非常用水源について
 - (1)小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針の素案では、校内のプールを廃止し、マンホールトイレの水源として、容量92m³の貯留水槽を活用することになっています。学校プールの貯留量を360m³とした場合と比べて、3分の1に満たない量となってしまいますが、問題ではないでしょうか。
 - (2)国分寺市や西東京市、町田市などでは、プールの水や河川水を生活用水として使えるようにするための浄水器やろ水器を備蓄していますが、小平市では必要ないでしょうか。また、市内の用水路の水を非常時に活用することもできるのではないのでしょうか。
 - (3)防災事業の現況によると、26市中17市に市所有の井戸があり、そのうち国分寺市、西東京市など6市は手押しポンプの井戸を所有しています。災害時には手押しポンプの井戸が有効だと思いますが、市内での必要性について見解をお聞かせください。また、小金井市、東久留米市など4市では民間所有の井戸の水を飲用可としています。市内の震災対策用井戸の水を飲用することはできないのでしょうか。
8. 災害時用の生理用品や、乳児用、介護用の紙おむつやおしりふきの備蓄量について、何人が何日くらい使用できる量がどこに備蓄されているのか教えてください。
9. 避難所での女性に対する暴力の防止、安全確保のための対策をお教えてください。
10. 市の避難所運営マニュアル作成の指針では、補助犬は居住スペースに同伴可能だが、アレルギーの可能性を考慮し、居住スペースを分ける等の配慮を検討するとされています。避難所に補助犬同伴者専用の居住スペースが設けられた場合、そこにペット同伴者も居住することはできないでしょうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和6年2月15日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 水口 かずえ